



「災害対策用機械」



災害対策用機械とは

台風、集中豪雨、地震などにより災害が発生した場合、一刻も早い救助活動や復旧活動を行うことで、地域住民の生命や財産を守り、さらに社会経済活動の維持を図る必要があります。

近畿地方整備局では、排水ポンプ車などの災害対策用機械を保有しており、災害が発生した場合、直ちに災害現場に災害対策要員とともに災害対策用機械を派遣し、災害に対して速やかな対処が行えるように防災体制を整えています。

排水支援



排水ポンプ車

夜間作業支援



照明車

現地対策本部、待機支援



対策本部車

水防支援



土のう造成機

映像発信・情報伝達支援



衛星通信車・Car-SAT

安全な施工を支援



分解対応型バックホウ

交通路の確保を支援



応急組立橋

現地調査を支援



ヘリコプター〔きんき号〕

目次

機械名	規格	ページ
排水ポンプ車		4～5
照明車		6～7
対策本部車		8～9
土のう造成機		10～11
分解対応型バックホウ		12～13
簡易遠隔操縦装置〔ロボQS〕		14
応急組立橋		15
衛星通信車		16
Car-SAT		17
ヘリコプター〔きんき号〕		18
災害時にも活躍する道路維持用機械		19
	路面清掃車	20
	散水車	21
近畿地方整備局・事務所所在地		背表紙

機械別 必要免許早見表(道路運転時)

免許の種類	普通免許	準中型免許 ※平成29年3以降に取得	中型免許 ※平成19年6月以降に取得	大型免許	大型特殊免許
車両総重量	3.5トン未満	7.5トン未満	11.0トン未満	11.0トン以上	—
最大積載量	2.0トン未満	4.5トン未満	6.5トン未満	6.5トン以上	—
排水ポンプ車			○(30m ³ /minのみ)	○	
照明車		○(ポール式のみ)	○	○	
対策本部車		○(バス型のみ)	○	○	
土のう造成機			○	○	
衛星通信車	○(小型車両のみ)	○	○	○	
Car-SAT	○	○	○	○	
路面清掃車					○
散水車				○	

※道路運送車両法施行規則(昭和26年運輸省令第74号)第2条の規定に基づく特殊な構造を有する大型自動車

排水ポンプ車

排水ポンプ車は、排水作業に必要な排水ポンプや排水ホース等を備えた車両です。浸水した場所に速やかに出動し、浸水域の氾濫水を排水します。



機械の諸元(30m³/min)



主要諸元 (※)

乗車定員	2名
車両寸法	全長8,490mm×全幅2,370mm×全高2,750mm
車両総重量	9,860kg
駆動方式	総輪駆動式
燃料	車両本体 : 軽油 300L(150Lタンク2個) 発動発電機 : 軽油 250L(車体タンクから吸い上げ可能)

主要機能

排水ポンプ	Φ200mm 水中モータ駆動ポンプ 5.0m ³ /min×6台 (ポンプ1台で全揚程10m、2台連結で全揚程20m) 単体重量35kg
ホース	0.2MPa Φ200mm×20m×2本×3台分 (下段側用) 0.2MPa Φ200mm×10m×1本×3台分 (下段側用) 0.4MPa Φ200mm×20m×2本×3台分 (上段側用) 0.4MPa Φ200mm×10m×1本×3台分 (上段側用)
発動発電機	(定格出力) 3相 440/220V 60Hz 125kVA 1台 (外部出力) AC100V×2口、AC200V×1口

(※) 30m³/min 高揚程 (20m直) 6Pを代表規格とし、諸元については建設機械番号 27-4602を参照

機械の諸元(60m³/min)



主要諸元 (※)

乗車定員	2名
車両寸法	全長10,260mm×全幅2,490mm×全高3,340mm
車両総重量	18,220kg
駆動方式	後輪駆動式
燃料	車両本体 : 軽油 400L 発動発電機 : 軽油 490L(車体タンクから吸い上げ可能)

主要機能

排水ポンプ	Φ200mm 水中モータ駆動ポンプ5.0m ³ /min×12台 (ポンプ1台で全揚程10m、2台連結で全揚程20m) 単体重量35kg
ホース	0.2MPa Φ200mm×20m×2本×6台分 (下段側用) 0.2MPa Φ200mm×10m×1本×6台分 (下段側用) 0.4MPa Φ200mm×20m×2本×6台分 (上段側用) 0.4MPa Φ200mm×10m×1本×6台分 (上段側用)
発動発電機	(定格出力) 3相 440/220V 60Hz 300kVA 1台 (外部出力) AC100V×2口、AC200V×1口

(※) 60m³/min 高揚程 (20m直) 12Pを代表規格とし、諸元については建設機械番号R02-4650を参照

排水ポンプ車

規格

設営スペース

設営目安人数

設営目安時間

必要資格

60m³/min
30m³/min

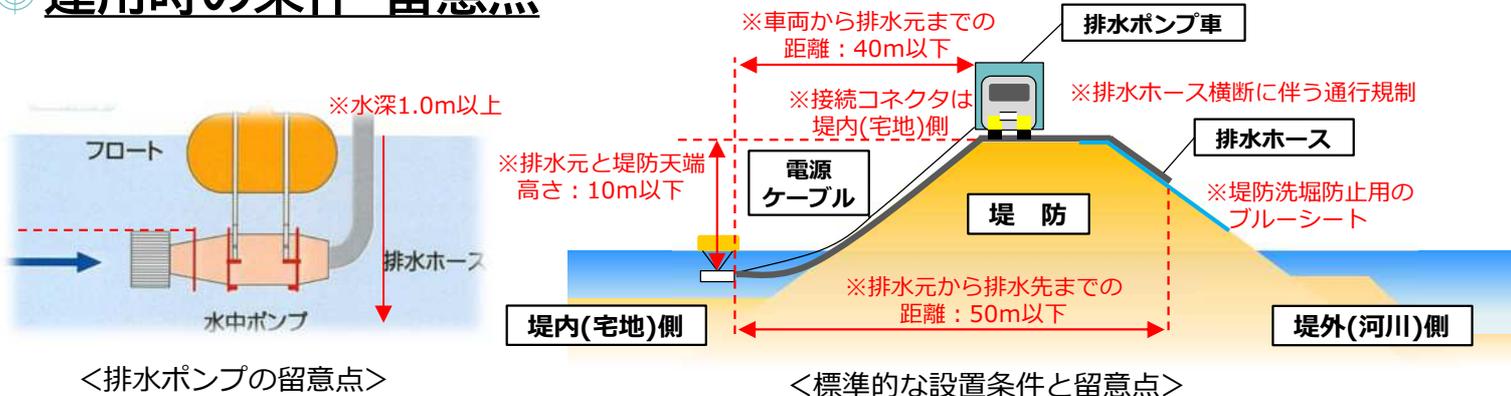
5m程度×20m程度

4人

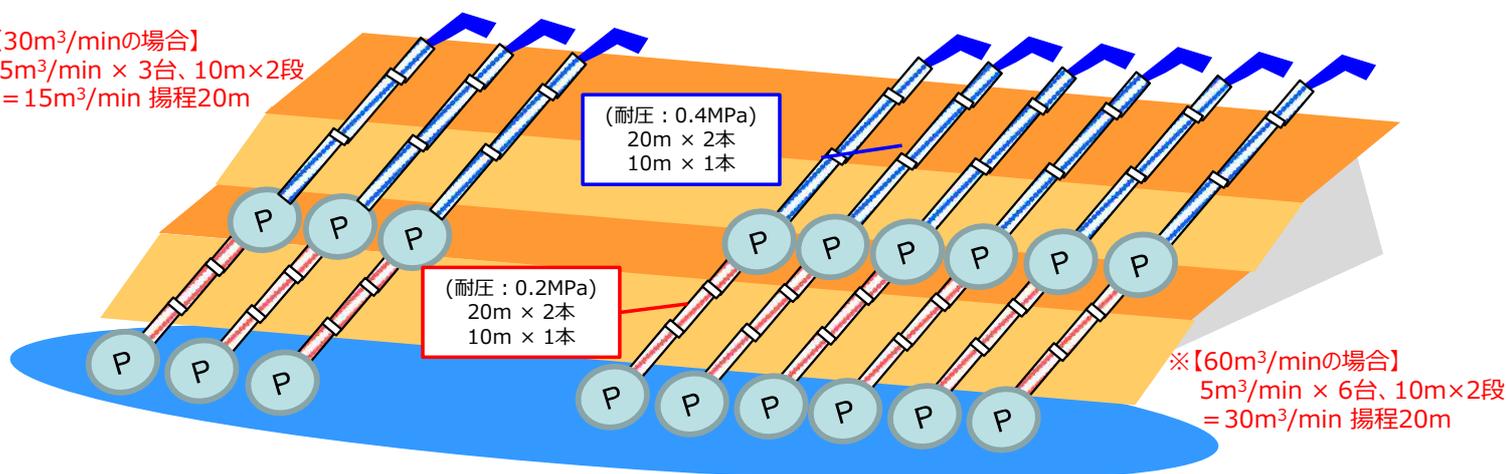
概ね90分
概ね60分

大型自動車免許
中型自動車免許

運用時の条件・留意点



※【30m³/minの場合】
5m³/min × 3台、10m×2段
= 15m³/min 揚程20m



<高揚程で排水する際の設置例>

「進入路」と「設置スペース」

■災害対応現場イメージ

① 進入路 (直線)

排水ポンプ車
(60m³/min)



※幅4.0m以上必要

排水ポンプ車
(30m³/min)



※幅3.5m以上必要

4tトラック



※幅3.5m以上必要

軽トラック

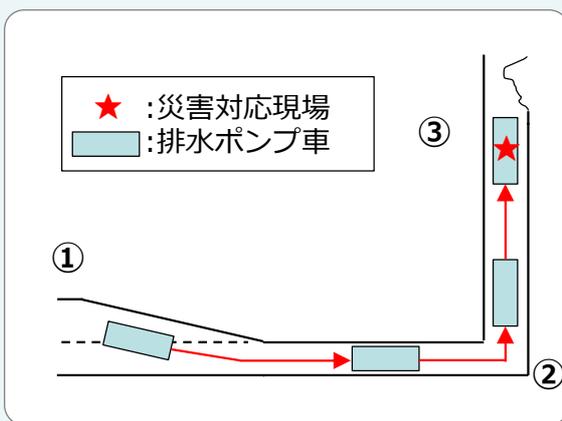


※幅2.5m以上必要

③ 設置スペース

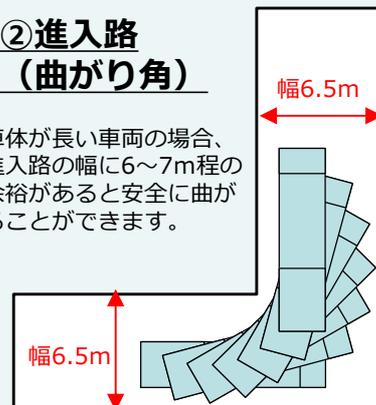


幅5.0m程度必要



② 進入路 (曲がり角)

車体が長い車両の場合、
進入路の幅に6~7m程の
余裕があると安全に曲が
ることができます。



照明車

照明車は、夜間の現場作業に必要な照明装置やカメラを備えた車両です。災害現場に出動し、夜間の現場照明や災害現場の状況を撮影し、画像伝送を行います。



機械の諸元（ブーム式）



主要諸元（※）

乗車定員	2名
車両寸法	全長6,670mm×全幅2,050mm×全高3,250mm
車両総重量	7,480kg
駆動方式	後輪駆動式
燃料	車両本体：軽油 87L(150Lタンク2個) 発動発電機：軽油 58L(燃料タンクは車体タンクと共用)

主要機能

照明装置	LED 1.3kw×6灯
照明昇降装置	3段油圧伸縮式、最大高さ20m、旋回角度0～360°
発動発電機	(定格出力) 3相 200V 60Hz 13kVA 1台 (外部出力) AC100V×2口
監視カメラ	屋外カメラ装置、映像記録装置付
その他	アウトリガー、作業灯、三杯式風速計

※1.3kw×6灯 20m ブーム カメラ付を代表規格とし、諸元については建設機械番号R02-1600を参照

機械の諸元（ポール式）



主要諸元（※）

乗車定員	2名
車両寸法	全長4,700mm×全幅1,730mm×全高3,470mm
車両総重量	5,540kg
駆動方式	後輪駆動式
燃料	車両本体：軽油 50L(150Lタンク2個) 発動発電機：軽油 58L(燃料タンクは車体タンクと共用)

主要諸元

照明装置	LED 1.3kw×3灯×2組
照明昇降装置	伸縮ポール式、最大高さ10m×2組、旋回角度0～360° 俯仰角度0～180°
発動発電機	(定格出力) 3相 220V 60Hz 13kVA 1台 (外部出力) AC100V×2口
監視カメラ	屋外カメラ装置、映像記録装置付
その他	車体安定ジャッキ、三杯式風速計

※1.3kw×6灯 10m ポール カメラ付を代表規格とし、諸元については建設機械番号R02-4654を参照

照明車

規格

設営スペース

設営目安人数

設営目安時間

必要資格

ブーム式
ポール式

5m程度×9m程度
4m程度×7m程度

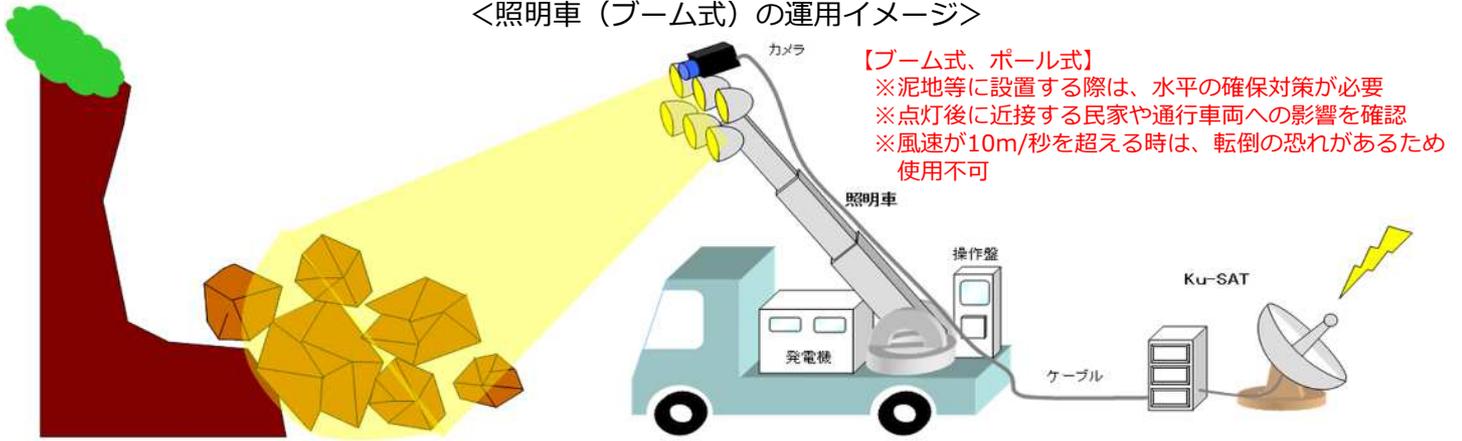
2人

概ね15分

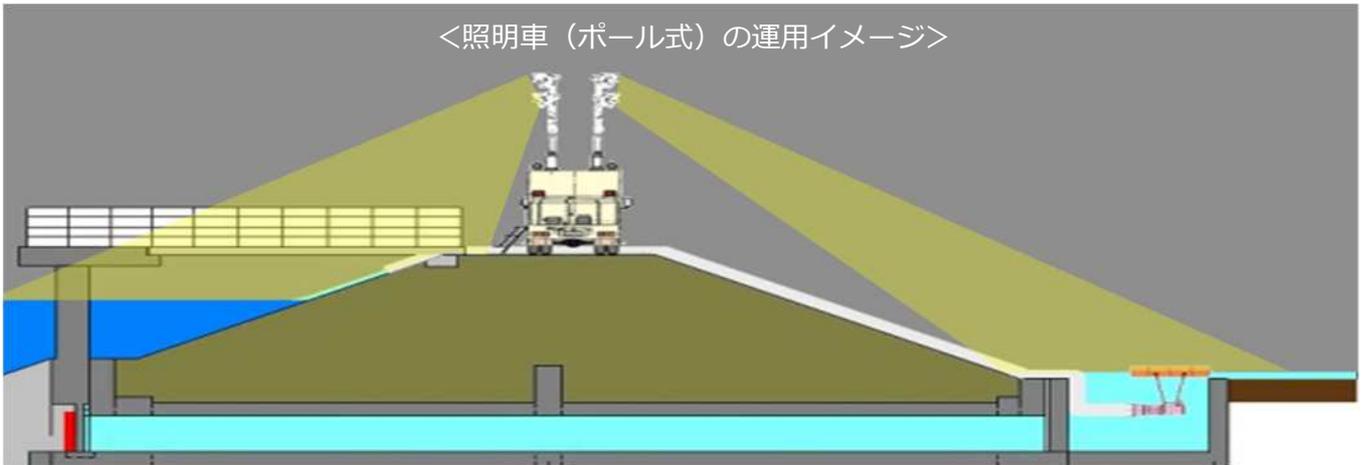
中型自動車免許
準中型自動車免許

運用時の条件・留意点

＜照明車（ブーム式）の運用イメージ＞



＜照明車（ポール式）の運用イメージ＞



「進入路」と「設置スペース」

■災害対応現場イメージ

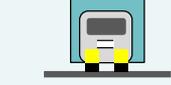
① 進入路（直線）

照明車
（ブーム式）



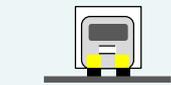
※幅3.5m以上必要

照明車
（ポール式）



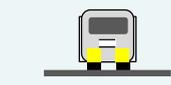
※幅3.0m以上必要

4tトラック



※幅3.5m以上必要

軽トラック

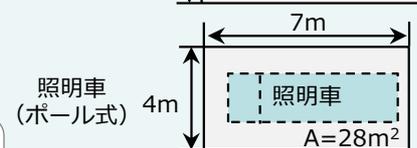
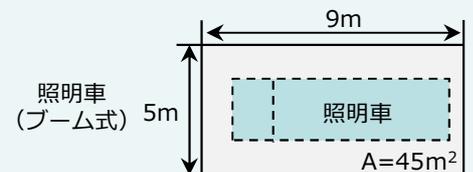
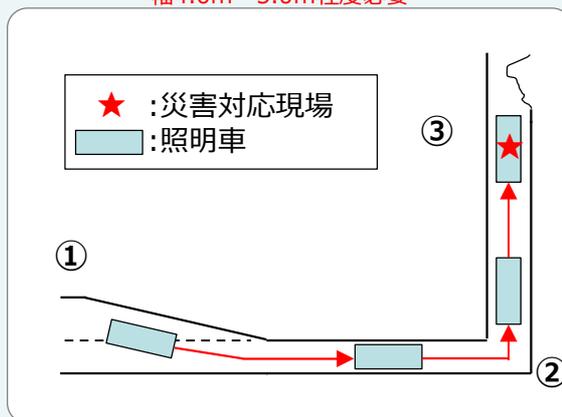


※幅2.5m以上必要

③ 設置スペース

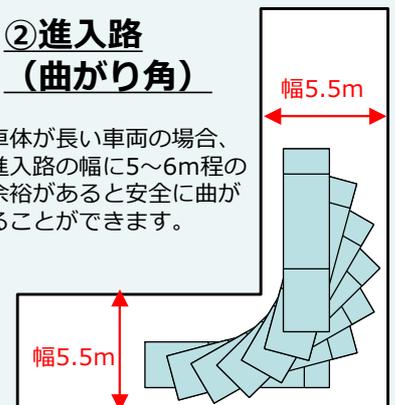


幅4.0m～5.0m程度必要



② 進入路（曲がり角）

車体が長い車両の場合、
進入路の幅に5～6m程の
余裕があると安全に曲が
ることができます。



対策本部車

対策本部車は、現地の情報収集に必要な情報収集機器、会議設備等を備えた車両です。災害発生現場に出動し、現地の状況把握、作業支援活動を行います。



機械の諸元(拡幅型)



主要諸元

乗車定員	3名
車両寸法	全長8,990mm×全幅2,495mm (拡幅時4,550mm) ×全高3,640mm
車両総重量	9,485kg
駆動方式	総輪駆動式 (4×4D)
燃料	車両本体 : 軽油 100L 発動発電機 : 軽油 62L (車両タンクから吸い上げ可能)

主要機能

情報収集装置	ラジオ、地上波アンテナ、BSアンテナ
モニター	薄型テレビ2台
会議室設備	折り畳みテーブル、収納ラック、冷暖房設備、BDレコーダー、プリンター
会議机、椅子	机3卓、椅子8脚
その他	トイレ (簡易組立式)、冷蔵庫、カセットコンロ、電子レンジ、電気ポット
発動発電機	単相100V 60Hz/50Hz 15kVA(60Hz)

※諸元については建設機械番号R02-4655を参照

機械の諸元(バス型)



主要諸元

乗車定員	2名
車両寸法	全長6,990mm×全幅2,380mm×全高3,250mm
車両総重量	7,080kg
駆動方式	総輪駆動式 (4×4D)
燃料	車両本体 : 軽油 100L 発動発電機 : 軽油 26L (車両タンクから吸い上げ可能)

主要機能

情報収集装置	ラジオ、地上波アンテナ、BSアンテナ
モニター	薄型テレビ2台
会議室設備	収納ラック、冷暖房設備、冷暖房設備、BDレコーダー、プリンター
会議机、椅子	机2卓 (ベッドに着席)
その他	トイレ (簡易組立式)、冷蔵庫、カセットコンロ、電子レンジ、電気ポット
発動発電機	単相100V 60Hz/50Hz 6kVA(60Hz)

※諸元については建設機械番号R02-1601を参照

対策本部車

規格

設営スペース

設営目安人数

設営目安時間

必要資格

拡幅型
バス型

7m程度×12m程度
5m程度×10m程度

3人

概ね30分
概ね15分

中型自動車免許
準中型自動車免許



<対策本部車（拡幅型）の使用例>



<対策本部車（バス型）の使用例>

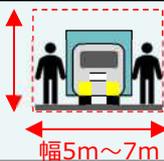
「進入路」と「設置スペース」

■災害対応現場イメージ

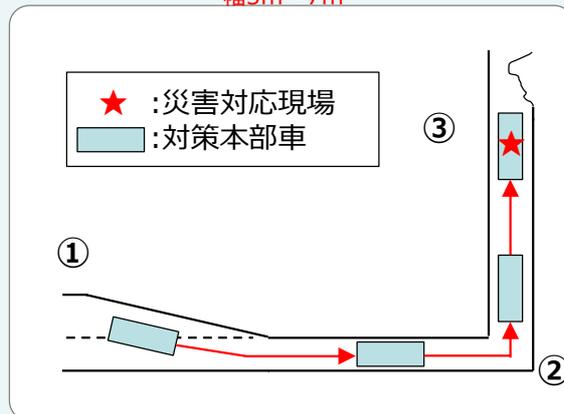
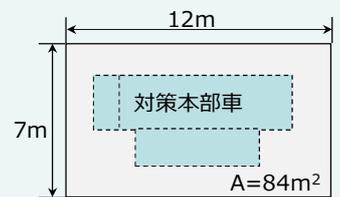
① 進入路（直線）



③ 設営スペース

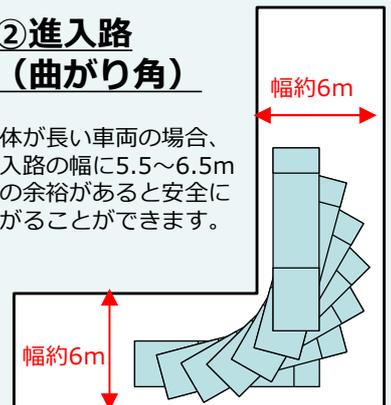


（拡幅型）



② 進入路（曲がり角）

車体が長い車両の場合、進入路の幅に5.5~6.5m程の余裕があると安全に曲ることができます。



土のう造成機

土のう造成機は、止水対策に必要な土のうを人力の代わりに早く、連続して作り出すことが出来る機械です。応急対策が必要な場所に出動し、水防支援を実施します。



機械の諸元

主要諸元

造成機寸法	全長4,560mm×全幅3,800mm×全高2,870mm		
機器重量	3,140kg	土砂供給装置	上段1,990kg 下段 690kg
		結束装置	340kg
		運搬コンベア	120kg
ホッパー容量	1.0m ³		

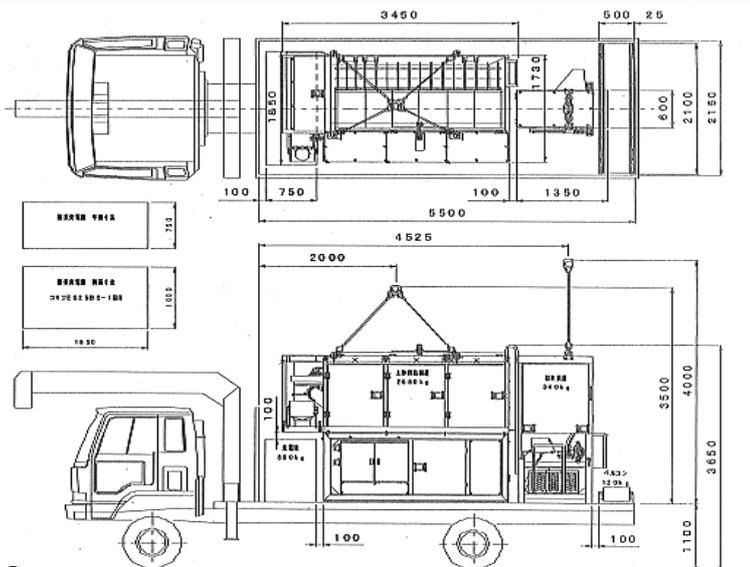
主要機能

造成能力 400袋/h(土のう重量約15kg)



〈造成機の設置イメージ〉

※諸元については建設機械番号17-4604を参照



土のう造成機

設営スペース

7m×6m

設営目安人数

6人

設営目安時間

60分

必要資格

中型自動車免許

派遣・運用時の条件・留意点

派遣時

- 機械の運搬には別途運搬車両が必要です（車両によって免許は異なります。）
- 幅3.5m以上の砂利等で整地された進入路が必要です。
- 運搬車両の進入路が軟弱な地盤の場合には、砂利や敷き鉄板の養生が必要です。
- 機械の設営スペースとして、概ね7m×6m程度が必要です。
- 設営作業には、作業員6名で60分程度の時間が必要です。
- 本機械の設営は、別途クレーンが必要です。

運用時

- 土砂供給装置の上部から土を供給するための機械が別途必要です。
- 適用土質は最大粒径150mm以下の砂質土、レキ質土、粘性土(シルト+粘性土50%以上で湿潤状態を除く)です。
- 土のう袋は寸法620mm×480mm、口紐 袋口から結び目まで80mm±10mmのものを使用します。



<標準的な土のう造成機による土のう作成の流れ>

「進入路」と「設置スペース」

■災害対応現場イメージ

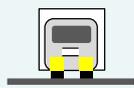
① 進入路（直線）

土のう造成機
運搬車両
(約3.8m)



幅4m以上必要

4tトラック
(約2.5m)



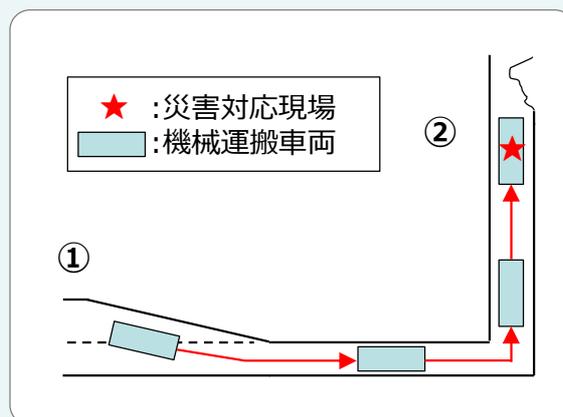
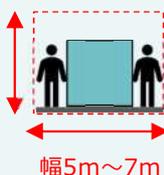
幅4m以上必要

軽トラック
(約1.5m)



幅3m以上必要

② 設営スペース



災害現場や土の供給に使用する機械により設置スペースは異なります。

分解対応型バックホウ

分解対応型バックホウは、建設機械の分解・組立による空中運送での配備や無人化施工(遠隔操作)などの機能を備えた車両です。

被災状況により大型の建設機械が陸上運送できない場合や復旧作業で二次災害の危険性がともなう場合に出動し、安全な施工を支援します。



※機械搬入から分解に5日程、組立から試運転までに4日程の工程が必要です。
※現場状況、制約、実施人数、時間等により日数は変わります。

🎯 機械の諸元

主要諸元

バケット容量	1.0m ³
寸法	全長10m×全幅3.3m×3.3m
総重量	24,600kg
燃料タンク	520L
ブロック	13ブロック(1ブロック最大2.82t) 空輸、4tトラックボディで運搬可能
遠隔操縦	最大約150m 車載用カメラ装置付き、操作用モニター付き
その他	遠隔操縦機能付き

🎯 分解・組立(輸送)



平成29年(土砂ダム仮排水路設置)【奈良県十津川村栗平地先】

分解対応型バックホウ

活動現場までの運搬の流れ

STEP1 分解

災害対策のため建設機械メーカーに運搬し分解します。



※空輸できる場所までは陸上輸送で運搬する必要があります。

STEP2 輸送・運搬

陸路での輸送が困難な場合、バックホウを14ブロックに分割しヘリコプターにより空輸を行うことが可能です。



STEP3 組み立て

陸路での輸送が困難な被災地ではラフタークレーン、ユニック車等も入れない為カニクレーン（2.9t吊り）×2台で組立作業を実施



※現場状況によっては敷鉄板等も必要

簡易遠隔操縦装置〔ロボQS〕

簡易遠隔操縦装置〔ロボQS〕は、一般のバックホウ(油圧ショベル)専用の遠隔操縦装置です。

既存のバックホウを改造することなく、簡単に取り付け、安全な場所から遠隔操縦が可能です。二次災害の危険がある現場で活用しています。



装置の諸元

主要諸元

取付要員	1~3名程度
取付時間	2~3時間程度
ユニット数	5ユニット
総重量	約70kg
駆動方式	電動
無線方式	特定小電力無線(429MHz)
遠隔操縦距離	150m程度(障害物が無い場合)

ロボQSのユニット



ユニットが小型軽量のため
容易に運搬が可能

応急組立橋(トラス式)

応急組立橋は、地震や洪水などの災害により橋が壊れた場合、また緊急的に橋が必要となった場合に架設する仮橋です。

現地の状況にもよりますが、短期間に組立てができるので、緊急車両及び一般車両の交通路を確保するための重要な役割を担っています。

◎ 設営イメージ



橋台(橋の土台)があれば約2週間で架設することができます。
また、橋長や幅員を調整することができます。



架設前



架設中



架設後

H23年度 台風12号災害対応 国道169号(奈良県吉野郡川上村迫)架設状況

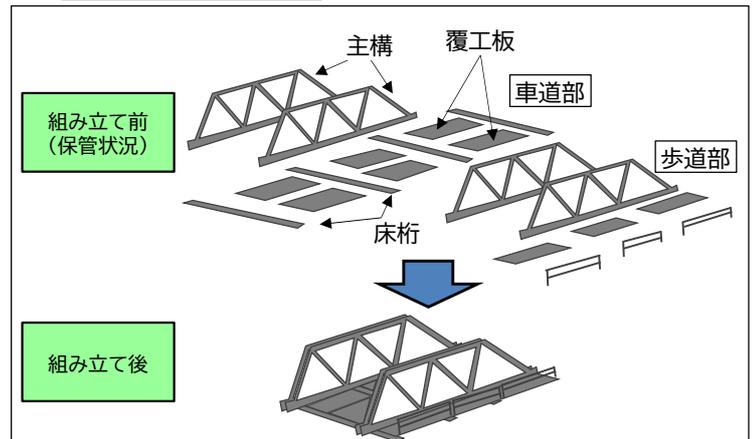
◎ 機械の諸元

主要諸元

形式	形式 トラス式 床版 デッキパネル式
車両寸法	橋長 40m
	車道幅員 4.0m~8.0m (2.0m間隔)
	歩道幅員 1.5m
	スロープ長さ 10m
	手延機長 29.38m
防備処理	溶融亜鉛メッキ
設計荷重	B活荷重

ここで記載している諸元は代表的な規格でその他の企画もあります。

◎ 組立の概要



衛星通信車

衛星通信車は、災害現場に出動し衛星通信回線を構築するための車両です。衛星通信設備を搭載しており、災害現場より本省・本局等の災害対策本部に対して映像・音声等を伝送します。

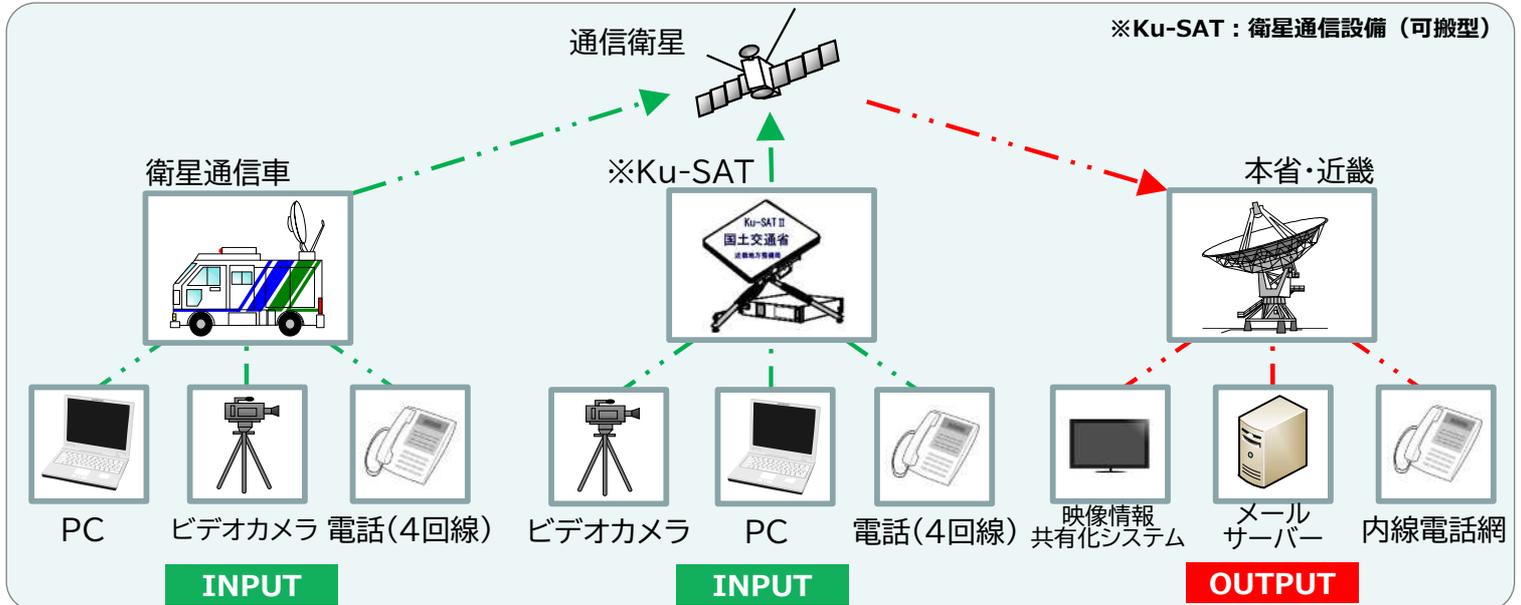


平成28年 熊本地震災害に関する支援（小型車両）



（中型車両）

衛星通信車システムの概要



機械の諸元（小型）

諸元	
通信装置 ※1局当たり	衛星通信設備（1回線）、映像送信装置（1台）、映像受信装置（1台）、マイクロ電話（4台）、パソコン（1台）
電源装置	発動発電機（8kVA）
燃料容量	ガソリン95L
運転免許	普通自動車免許
車両寸法	全長4,820mm×全幅1,830mm×全高1,860mm
車両重量	2,900kg
車両総重量	3,100kg
乗車定員	3名
駆動方式	総輪駆動式

機械の諸元（中型）

諸元	
通信装置 ※1局当たり	衛星通信設備（1回線）、映像送信装置（1台）、映像受信装置（1台）、マイクロ電話（4台）、パソコン（1台）
電源装置	発動発電機（11kVA）
燃料容量	軽油200L
運転免許	中型・普通自動車免許
車両寸法	全長6,130mm×全幅2,190mm×全高3,380mm
車両重量	7,500kg
車両総重量	7,700kg
乗車定員	3名
駆動方式	4×4D

※本設備に関するお問い合わせは、企画部 情報通信技術課までお願いします。

Car-SAT

移動型衛星通信設備(Car-SAT)は、衛星通信回線を介して、走行しながら中の車両から被災状況を映像送信する車両ことが可能です。災害対策本部等においてリアルタイムに被災状況の把握が可能となります。



機械の諸元

諸元	
通信装置	衛星通信設備 (1回線)、映像送信装置 (1台)、マイクロ電話 (1台)
電源装置	車両用オルタネータに加え、オルタネータ (140A、100V) を追加
燃料容量	70L
運転免許	普通自動車免許
車両寸法	全長4,690mm×全幅1,690mm×全高2,200mm
車両重量	2,260kg
車両総重量	2,870kg
乗車定員	2名
駆動方式	4×4D

- ・走行しながらリアルタイムに映像送信が可能
- ・マイクロ電話またはK-入で車両と通話が可能
- ・荷室スペースを備え、現地で使用する災害対策用通信機器(公共BB、i-RAS)を積み込み可能

●K-入【国土交通省デジタル陸上移動通信システム】の特徴

(Kokudokoutsuu LAnd Mobile systemBy Digital Access)

- ・デジタル変調を行うVHF無線機を陸上で人が手に持ち、または、車両に搭載し、移動しながら通信が可能
- ・無線機同士だけでなく、本局、事務所及び出張所と無線システムで会話が可能

●公共BB【公共ブロードバンド無線装置】の特徴

- ・見通し外通信が可能
- ・移動しながら通信が可能
- ・既存設備との連携による機動的な情報収集が可能

●i-RAS【5GHz無線アクセスシステム】の特徴

(integrated network Radio Access System)

- ・長距離伝送が可能
- ・国土交通省～自治体との臨時通信回線に利用可能
- ・大容量且つ多様な通信が可能

通信イメージ



※本設備に関するお問い合わせは、企画部 情報通信技術課までお願いします。

ヘリコプター〔きんき号〕

ヘリコプターは、災害直後の被災状況の調査、状況の変化の監視、災害対策要員や資機材の輸送、災害復旧作業の支援を行います。



機械の諸元

諸元	
航空機型式	レオナルドAW139型
全長	16.62m
全高	4.98m
乗員数	9名（操縦士1名、整備士1名、撮影技師1名含む）
ローター直径	13.80m
最大出力	3358馬力（2基分）
標準機体重量	4,577kg 標準機体重量は、国土交通省搭載装備を全備した時の重量である。
最大離陸重量	6,400kg
燃料タンク容量	標準タンク 1,520L

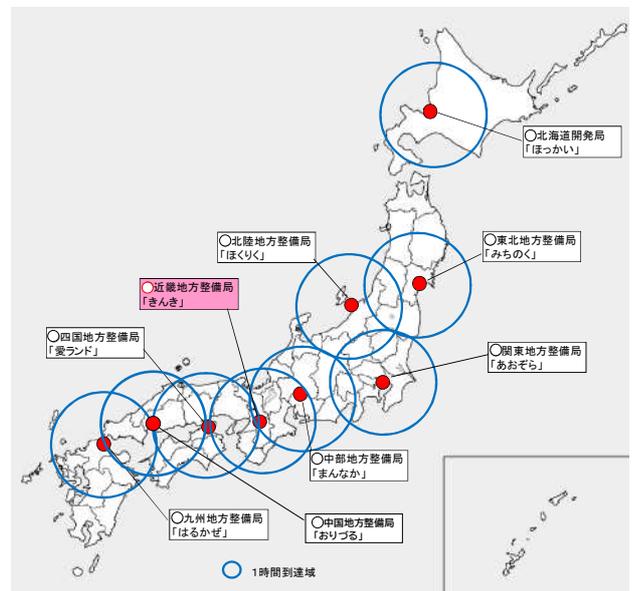
諸元	
最大速度	251km/h
巡航速度	220km/h
航続時間	2h30m 航続時間は、気象及び飛行条件、搭載燃料量等、種々の要素で大幅に相違する。 （予備燃料300kgを除く。）
最大運用高度	6,096m（飛行してはいけない限界の高度）
最大航続距離	500km
装備品	HDTV高感度カラーカメラ 機外スピーカー サーチライト 機外吊り下げ装置 ヘリコプター搭載型衛星通信設備 地上系無線装置

全国の防災用ヘリコプター 一覧

配備地整名	機体名	機種	定員※
北海道	ほっかい号	ベル式412EPI	11名
東北	みちのく号	ユーロコプター式 AS332L2	20名
関東	あおぞら号	レオナルドAW139	13名
北陸	ほくりく号	ベル式412EP	11名
中部	まんなか号	ベル式412EP	11名
近畿	きんき号	レオナルドAW139	9名
中国	おりづる号	レオナルドAW189	16名
四国	愛らんど号	ベル式412EP	11名
九州	はるかぜ号	レオナルドAW139	11名

※運行要員（操縦士、副操縦士（「あおぞら」、「みちのく」のみ）、整備士、撮影技士）を含む。

【国土交通省ヘリコプターの担当エリア】



災害時にも活躍する道路維持用機械

近畿地方整備局では、路面清掃車などの道路維持用機械を保有しており、道路の維持管理を行っています。

災害時には、道路散乱物の清掃や給水活動などの災害復旧支援も行っています。

路面清掃を支援



路面清掃車

路面清掃・給水を支援



散水車

路面清掃車

路面清掃車は、サイドブラシで車道の端部の土砂やゴミを車体の下部へ掻き出しメインブラシにより土砂やゴミをかき上げて清掃する機能を備えた車両です。



平成30年 関西国際空港における滑走路の清掃活動



メインブラシ

サイドブラシ

主要機能

最大積載量	3,900kg
塵埃ホッパ有効容量	2.0m ³
塵埃回収質量	2,000kg
清掃時の走行速度	3.0~30km/h
清掃の作業幅	片側作業時2.7m 作業最大時3.0m
水タンク容量	1.9L
ブラシ	側面左右ブラシ各2個 後方メインブラシ1個
散水ノズル	前部左右各1個 側面左1個 後方左右各1個

機械の諸元

主要諸元

乗車定員	2名
車両寸法	全長8,060mm×全幅2,350mm×全高2,950m
車両質量	12,820kg
駆動方式	後輪駆動式
燃料	軽油

※諸元については建設機械番号 R03-1604を参照

散水車

散水車は、粉塵が舞い上がらないように水を撒き、車両によっては他の車に水を補給する機能を備えた車両です。



平成30年 7月豪雨における路面散水状況



散水装置



給水装置



令和4年 静岡市 台風15号による断水
断水地域の給水活動



散水装置

散水装置

主要諸元

乗車定員	2名
車両寸法	全長7,850mm×全幅2,320mm×全高2,740mm
車両質量	12,370kg
駆動方式	後輪駆動式
燃料	軽油
水タンク容量	6,300L (SUS製)
散水ノズル	前部左右各1個、側面左1個、後方左右各1個

近畿地方整備局・事務所所在地

名称	〒	所在地	電話(代)	ホームページアドレス
近畿地方整備局	540 - 8586	大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎	(06) 6942-1141	https://www.kkr.mlit.go.jp/
近畿地方整備局 (港湾空港関係)	650 - 0024	神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎	(078) 391-7571	https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/
福井河川国道事務所	918 - 8015	福井市花堂南2-14-7	(0776) 35-2661	https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/
足羽川ダム工事事務所	918 - 8239	福井市成和1-2111	(0776) 27-0642	https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/
琵琶湖河川事務所	520 - 2279	大津市黒津4-5-1	(077) 546-0844	https://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/
大戸川ダム工事事務所	520 - 2144	大津市大萱1-19-32	(077) 545-5675	https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/
滋賀国道事務所	520 - 0803	大津市竜が丘4-5	(077) 523-1741	https://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/
福知山河川国道事務所	620 - 0875	福知山市字堀小字今岡2459-14	(0773) 22-5104	https://www.kkr.mlit.go.jp/fukuchiyama/
京都国道事務所	600 - 8234	京都市下京区西洞院通塩小路下る南不動堂町808	(075) 351-3300	https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoto/
舞鶴港湾事務所	624 - 0946	舞鶴市字下福井910	(0773) 75-0844	https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/maizuruport/
淀川河川事務所	573 - 1191	枚方市新町2-2-10	(072) 843-2861	https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/
猪名川河川事務所	563 - 0027	池田市上池田2-2-39	(072) 751-1111	https://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/
大和川河川事務所	582 - 0009	柏原市大正2-10-8	(072) 971-1381	https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/
大阪国道事務所	536 - 0004	大阪市城東区今福西2-12-35	(06) 6932-1421	https://www.kkr.mlit.go.jp/osaka/
浪速国道事務所	550 - 0094	大阪市西区九条南1-4-18	(06) 6581-1802	https://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa/
大阪港湾・空港整備事務所 (港湾関係)	552 - 0007	大阪市港区弁天1-2-1 大阪ペイタワ-オフィス15階	(06) 6574-8561	https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/osakaport/
姫路河川国道事務所	670 - 0947	姫路市北条1-250	(079) 282-8211	https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/
豊岡河川国道事務所	668 - 0025	豊岡市幸町10-3	(0796) 22-3126	https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/
六甲砂防事務所	658 - 0052	神戸市東灘区住吉東町3-13-15	(078) 851-0535	https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/
兵庫国道事務所	650 - 0042	神戸市中央区波止場町3-11	(078) 334-1600	https://www.kkr.mlit.go.jp/hyogo/
神戸港湾事務所	651 - 0082	神戸市中央区小野浜町7-30	(078) 331-6701	https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobeport/
紀伊山地砂防事務所	637 - 0002	五條市三在町1681	(0747) 25-3111	https://www.kkr.mlit.go.jp/kiisanchi/
奈良国道事務所	630 - 8115	奈良市大宮町3-5-11	(0742) 33-1391	https://www.kkr.mlit.go.jp/nara/
和歌山河川国道事務所	640 - 8227	和歌山市西汀丁16番	(073) 424-2471	https://www.kkr.mlit.go.jp/wakayama/
紀南河川国道事務所	646 - 0003	田辺市中万呂142	(0739) 22-4564	https://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/
和歌山港湾事務所	640 - 8404	和歌山市湊薬種畑の坪1334	(073) 422-8186	https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/wakayamaport/
木津川上流河川事務所	518 - 0723	名張市木屋町812-1	(0595) 63-1611	https://www.kkr.mlit.go.jp/kizujyo/
九頭竜川ダム統合管理事務所	912 - 0021	大野市中野29-28	(0779) 66-5300	https://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu/
淀川ダム統合管理事務所	573 - 0166	枚方市山田池北町10-1	(072) 856-3131	https://www.kkr.mlit.go.jp/yodoto/
紀の川ダム統合管理事務所	637 - 0002	五條市三在町1681	(0747) 25-3013	https://www.kkr.mlit.go.jp/kinokawa/
近畿技術事務所	573 - 0166	枚方市山田池北町11-1	(072) 856-1941	https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/
神戸港湾空港技術調査事務所	651 - 0082	神戸市中央区小野浜町7-30	(078) 331-0057	https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobegicyo/
国営明石海峡公園事務所	650 - 0024	神戸市中央区海岸通29番地 神戸地方合同庁舎7階	(078) 392-2992	https://www.kkr.mlit.go.jp/akashi/
国営飛鳥歴史公園事務所	634 - 0144	奈良県高市郡明日香村大字平田538	(0744) 54-2662	https://www.kkr.mlit.go.jp/asuka/
京都営繕事務所	606 - 8395	京都市左京区丸太町川端東入ル東丸太町34-12 京都第二地方合同庁舎5F	(075) 752-0505	https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoei/

■■■編集発行

国土交通省 近畿地方整備局 企画部 施工企画課

〒540-8586 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎 TEL.(06) 6942-1141

ホームページアドレスは令和7年6月現在

令和7年6月